

執行部経営会議議事録

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和7年10月27日（月）16時30分～17時20分（50分） |
| 出席者 | 武井企業長、小野副院長、大久保副院長、遠藤副院長、工藤事務長、薬袋看護部長、大澤薬剤部長、森経営企画室長　幹事（総務課長村井） 合計9名 |
| 欠席者 | 八田副院長、高水間事務長代理、2名 |

I 審議事項

1 患者さんアンケート実施について

「庶務係」病院業務の改善課題、改善目標を設定し患者への医療サービスを向上させる基礎資料とするため、外来患者並びに入院患者対象のアンケートを実施する。実施貴時期は外来11月19日、入院11月17日～1月9日。アンケート集計及び分析については、ニチイ学会に依頼する。実施について諮りました。

【審議の結果】

実施を承認した。実施後は、集計や分析を職員に周知するため電子カルテに掲載やホームページなどでも公開していく。

2 ストレスチェック実施について

「労働安全衛生委員会」職員のメンタルヘルス不調の未然防止を目的にストレスチェックを実施する。Webにて11月4日～11月18日に実施予定。100%の受診率を目指す。実施について諮りました。

【審議の結果】

実施を承認した。

3 令和7年11月1日付人事異動内示表（案）

「人事係」令和7年11月1日付人事異動内示表（案）について諮りました。

【審議の結果】

内示表（案）を承認した。

4 人事行政の運営等の状況について（令和6年度分）

「人事係」「阿伎留病院企業団人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、阿伎留病院企業団職員の任免、給与、勤務条件などの概要を12月末日までにホームページ等で公表することについて諮りました。

【審議の結果】

公表について承認した。

5 ハイリスク定義について

「薬剤部」現在のハイリスク定義が分かりずらく幅広い状況で600品目となっている。これを整理し、7分類で50品目とする。抗がん剤はレジメン管理されている。麻薬は別途管理となっている。機能評価の定義でもあやふやな定義になっているより、絞って職員が同じ認識にする必要がある。新たに分類分けすることについて諮りました。

【審議の結果】

新たなハイリスク薬定義について承認した。

6 抗菌薬血中濃度測定オーダ発行プロトコルについて

「薬剤部」抗菌化学療法ではPK(Pharmacokinetics)/PD(Pharmacodynamics)理論をもとにした治療が確立している。治療早期から薬物血中濃度測定を行い、投与設計を行うことは治療不足と副作用回避において非常に重要である。薬剤師が医師と協働で抗菌薬血中濃度測定オーダを発行することにより、抗菌薬適正使用と医師の業務負担軽減を目的とする。オーダー発行プロトコルについて諮りました。

【審議の結果】

抗菌薬血中濃度測定オーダー発行プロトコルについて承認した。薬剤師の業務が増えるが、医師の負担軽減が期待される。

7 慢性EB ウィルス病専門外来運用内規（最終案）

「企業長」最終案について諮りました。

【審議の結果】

外来運用内規案について承認した。

8 慢性EB ウィルス専門外来開設のお知らせ

「企業長」新たな専門外来について開設のお知らせについて諮りました。

【審議の結果】

開設のお知らせについて承認した。枠を作成するなど医事課など関係各所に周知し、調整する。

9 ビューティーアンドウェルネス専門職大学共同研究契約について

「企業長」お茶の水女子大学前学長の室伏教授が研究している活性脂質が口内炎や胃潰瘍を治したりする。これを口腔内粧品として開発している。共同研究契約をし、将来的に連携をしていくことについて諮りました。

【審議の結果】

共同研究契約について承認した。

10 院内一次救急対応 WG 発足について

「企業長」院内一次救急外来についてワーキングを発足して、検討していく。

【審議の結果】

WG 発足について承認した。

以上